



進路だより

大阪府立東淀川支援学校

キャリア教育推進部

令和7年11月18日

第7号

高等部1年生 校内・現場実習

1年生は5つの班に分かれて取り組みました。前期は作業の一部を担当していた班が、後期は完成まで仕上げるなど、できる内容や精度が向上しました。また事業所見学などを通して、卒業後のイメージを具体的に持てた生徒もいたようです。以下に各班の様子を記します。

A1班：ステップルという、コの字型のカバー付きの釘の組み立て作業を行いました。治具を使ってカバーを固定し、コの字型の釘を上からはめました。上から強く押し込む必要もあったので、各自必要な補助具を利活用しながら、ゆっくり丁寧に作業を進めることができました。

A2班：ステップルの組み立て作業は、前回から取り組んでいたこともあり、とてもスムーズに作業を行うことができました。ステップルの検品と箱詰め作業は、後期の実習で初めて行う作業でしたが、一つひとつ確認をして納品することができました。2度目の校内実習で成長した姿が見られました。

B班：前期の校内実習で学んだことをステップにして、後期の目標を立てた5日間の実習では、ステップル・ビスの袋詰め・ビス袋のホッチキス止め・検品など集中力が必要な作業を、目標達成に向けて意欲的に取り組んでいました。丁寧な言葉遣いや報告することが定着してきました。

C班：ハンガーに付属するクリップの再生を、主な作業として取り組みました。クリップ先の古い滑り止めシールをはがす手間のかかる作業も、ペン先など各自で道具を工夫して根気よく取り組み、求められる以上にきれいに仕上げました。作業の準備や片づけでも出前授業で習った台拭きの方法を意識し、濡れ拭きと乾き拭きで手分けしながら取り組みました。自分のやりやすい方法と、指示された方法のギャップに悩みつつ、仕事として取り組む姿勢を体験しました。

D班：メッセージ付きサービス券、箸袋作業、ビスの袋詰め、検品、説明書折りなどの軽作業に取り組みました。たくさんの作業をする中で得意な作業、苦手な作業がありましたが、初めて行う作業では「やってみます」と意欲的に取り組む姿も見られました。



高等部2年生 校内・現場実習

高等部に入学してから4回目の実習ということもあり、生徒たちはこれまでの経験を生かして、落ち着いて活動に取り組むことができました。特に今回は、私語や立ち歩きがほとんど見られず、自分の手元を見ながら丁寧に作業に集中する時間が大きく増えるなど、確かな成長が感じられました。

また、この後期実習では7名の生徒が地域の企業等で行われる現場実習に参加しました。そして校外に出て実際の職場で一生懸命に働く仲間がいることを知り、「自分も現場実習に参加できるようになりたい」「そのために自力で通学できるように練習しよう」と意欲を高める生徒も出てまいりました。生徒たちがお互いの姿に刺激を受けて自立に向けた意識をいっそう強めることができた点も、今回の実習において得られた成果でした。校内・校外の実習を通して、生徒一人ひとりが働く喜びや責任を実感し、少しずつ自立への歩みを進めています。今後もそれぞれの成長を大切に支援してまいりますので、お力添えをよろしくお願い致します。



高等部 3 年生 校内・現場実習

高等部 3 年生は、最後の実習でした。実習の目標を決める際に、今までの実習を振り返り、「報告をしっかりと」「商品を大切に扱う」など、今自分に必要なこと、がんばりたいことを考えました。実習初日には、みんなの前で目標を発表してから作業に取り組みました。最後の実習ということもあって、一人ひとりがそれぞれの目標を意識して、より丁寧に、より集中して作業する姿が見られました。また、作業の報告をするときも自信を持って「できました」「確認をおねがいします」と伝えることができました。高等部 3 年間の実習で経験したことを卒業後、それぞれの進路先でいかされることを期待しています。



中学部 1 年生 進路社会体験学習

10 月 16 日（木）外食体験と買い物学習をするため、オッツ江坂ビル（びっくりドンキー、セリア）へ行ってきました。

当日までに、歩道での歩き方から、レストラン、食事のマナーやルール、また買い物の仕方やお金の支払いなども実践練習も含めて事前に学習をし当日に臨みました。当日は、最後まで落ち着いて行動できるとともに、笑顔もたくさん見られ、とても有意義な体験学習となりました。帰校後は、やっぱり安心した表情になり、それぞれが選んだ商品を見せ合うこともできました。



高等部 1・2 年生対象「ひがよどジョブフェスタ」を開催しました

10 月 20 日（月）、高等部 1・2 年生を対象に「ひがよどジョブフェスタ」を開催しました。

この行事は、生徒たちが将来の就労に向けてさまざまな職業や働き方に触れることを目的としており、地域の企業や就労支援に関わる多くの事業所の皆さまにご協力いただきました。当日は、一般企業をはじめ、就労移行支援事業所、就労継続支援 A 型・B 型事業所など、計 9 団体が来校し、各ブースで実際の仕事に近い体験活動を提供してくださいました。

体験ブースは、アリーナ、調理室、被服室、普通教室などに設置され、生徒たちはいくつかのブースを順番に回りながら、仕事の内容や現場の雰囲気について学びました。実際の作業を体験したり、説明を聞いたり、質疑応答の時間を通して、働くことへの理解が深まりました。

生徒たちからは、「思っていたよりも楽しかった」「自分にもできそうだった」「知らない職業のことができて良かった」などの感想が聞かれ、将来の自分の姿を考えるきっかけとなったようです。

卒業後の進路を考えるうえで、「働く」というテーマに早い段階から向き合うことはとても重要です。今後もこのような機会を通して、生徒一人ひとりが自分の可能性を広げ、自信を持って進路選択ができるよう支援していきます。

ご協力いただいた事業所の皆さまに、心より感謝申し上げます。

